

国土交通大臣政務官

藤井比早之様

国の施策等に関する  
提案・要望書

(平成29年4月)

鳥取県

# 国際航空路線の拡充に伴う受入環境整備について

## 《提案・要望の内容》

- 国が目指す2020年の訪日観光客4,000万人達成に向けて、来県する外国人観光客が近年急増している東アジアなどからの誘客対策を強化するため、次のとおり積極的な施策を講じること。
  - ①山陰唯一の複数定期路線を有する米子鬼太郎空港を「訪日誘客支援空港」に認定するとともに、国が平成29年度から拡充を予定している国管理空港・共用空港における国際線の着陸料支援について、米子-香港線、米子-ソウル線が引き続き支援対象となるよう制度設計すること。
  - ②米子鬼太郎空港では、米子-香港線の路線開設に加え、今後も国際チャーター便や国内路線の拡充が見込まれることから、空港エプロンのスポットを安全かつ円滑に運用するため、エプロン機能を強化すること。

## <参考>

### 1 米子鬼太郎空港における国際定期便の運航状況

- (1) エアソウル (週3便：日・火・金 A321 195席)
  - ・平成13年度からアジアナ航空が週3便就航⇒平成28年10月23日からエアソウル運航
  - ・平成27年度の利用実績は過去2番目となる34,440人（韓国人利用者数は過去最高の27,548人）が利用し、年間利用率は過去3番目の68.1%を記録
  - ・平成28年度の利用者数が就航以来の年間最多記録を更新  
過去最多：平成16年度35,152人⇒平成28年度37,688人
- (2) 香港航空 (週2便：水・土 A320 174席)
  - ・平成28年9月14日就航
  - ・平成29年3月の利用率74.9%⇒平成29年4月の予約状況も72%で好調
  - ・平成28年度利用者数12,875人

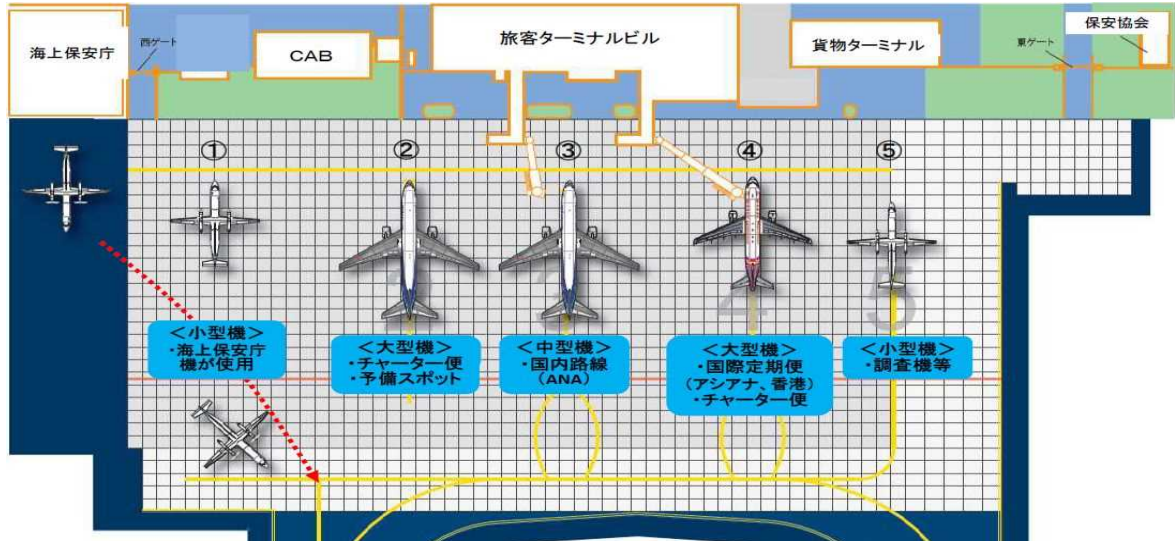
### 2 米子鬼太郎空港における国際チャーター便の運航状況

- (1) 年度別就航状況
  - ・平成24年度 29便：台湾・中国、輸送人員2,716人
  - ・平成25年度 50便：香港・台湾・ロシア、輸送人数6,904人
  - ・平成26年度 41便：香港・台湾・バンコク・韓国、輸送人数5,076人
  - ・平成27年度 43便：香港・台湾・韓国、輸送人数5,640人
  - ・平成28年度 16便：中国(上海)、輸送人数1,721人
- (2) 直近のチャーター便就航実績
  - ・香港航空が平成27年3月14日から4月11日の間に4往復、平成27年10月21日から12月20日の間に9往復の連続チャーターを実施  
(使用機材：A320-200 174席、送客人数：合計2,768人)
  - ・中国上海の吉祥航空が平成28年7月3日から8月22日の間に8往復の連続チャーターを実施  
(使用機材：A320-200 158席、送客人数：1,721人)

### 3 着陸料支援に係る29年度航空局制度概要（国管理空港・共用空港）

H28 支援制度	H29 支援制度
<p>◆国管理空港・共用空港</p> <p>○対象要件 国際路線の誘致・充実にに向けた自治体等の取組が行われていること</p> <p>○対象便 国際線の新規就航・増便、国際チャーター便の増加分</p> <p>○支援内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">国 1 / 2</p> <p style="text-align: center;">※自治体の支援額(上限1/2)と同額を減免</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">県 1 / 2</p> <p style="text-align: center;">※航空会社へ支援(補助等)</p> </div>	<p>◆国管理空港・共用空港</p> <p>○対象要件 「訪日誘客支援空港」の認定 ※自治体等が一定水準以上の訪日誘客目標・計画を持つ空港（国が認定）</p> <p>○対象便 <span style="color: red;">国際線の新規就航・増便（ただし、H29 夏ダイヤ以降かつ、支援空港認定後の便に限る）</span></p> <p>○支援内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">国 1 / 2、最大3年</p> <p style="text-align: center;">※自治体の支援規模、支援期間以内で減免</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">県 1 / 2</p> <p style="text-align: center;">※航空会社へ支援(補助等)</p> </div>

#### 4 米子鬼太郎空港平面図（現在のエプロン利用状況）

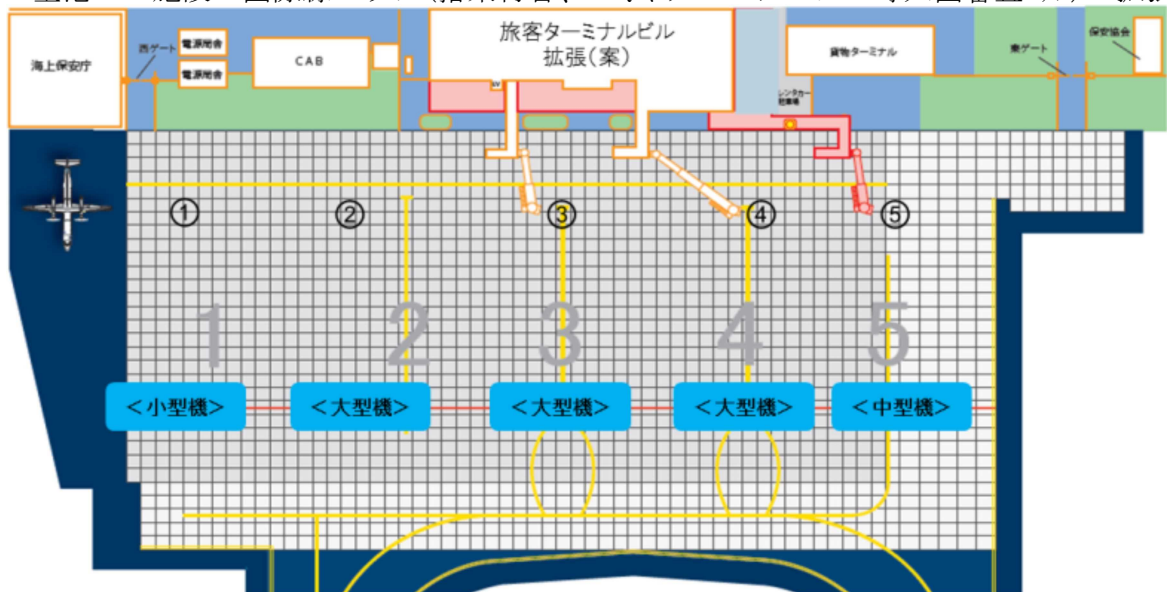


ジェット機が輻輳する場合や①スポットを海上保安庁機が横断する場合に、航空機の運用に制約が生じている。

⇒国際線の拡充（PBBの新規設置）とあわせ、エプロン駐機の再配置の検討が必要。

#### 《米子鬼太郎空港の見直し（案）》

- ・大型機材の就航にあわせた①～⑤エプロンスポットの再配置、⑤スポットへのPBB新設
- ・空港ビル施設の国際線エリア（搭乗待合、CIQやターンテーブル等入国審査エリア）の拡張



⇒国の「訪日誘客支援空港」に認定されると、着陸料支援に加え、以下の空港ビル会社等への支援が受けられる。（主なもの）

- ・空港ビル会社等による出入国容量拡大等に資する施設整備 [1/3補助]  
支援対象：待合スペース、手荷物ハンドリングシステム、PBB増設等
- ・CIQ施設整備 [1/2補助]  
支援対象：国際線入国審査エリア拡充
- ・訪日外国人旅行者の受入れ環境整備 [1/3補助]  
支援対象：案内標識・案内放送の多言語化、WiFi環境整備、エレベータ設置等

## 地方航空路線の維持・拡充について

### 《提案・要望の内容》

○地方における交流人口の拡大や物流の拡充などにより地方経済を発展させるためには、ハブ空港である羽田との路線強化が必要不可欠であることから、次のとおり積極的な施策を講じること。

- ①国際線枠の暫定活用により増便した米子-東京線は、その利用状況が好調であるにも関わらず減便となったことから、引き続き利用者の利便性向上を図るため、羽田空港の国内線発着枠の増枠等確保について早急に対応すること。
- ②鳥取-東京線の航空需要の安定かつ持続性のある伸展を図るため、羽田発着の政策コンテスト枠を平成30年度以降も継続して割り当てること。
- ③東京線の航空運賃について、岡山や広島など山陽側と比べ割引率が低く、均衡ある地域間競争の確保と観光客増による地域経済発展のため、航空会社に対し航空運賃の引き下げを働きかけること。

### <参考>

#### 1 米子鬼太郎空港の国内線運航状況

(1) 路線状況：ANA羽田6便/日 ※H28年冬ダイヤから7便が6便に減便（H28.10.30～）

(2) 利用状況と便数の推移（H25-H27のSKYは除く）

		4-5月	6-9月	10月	11-3月
H25年度	543,947人	5便	5便	6便	6便
H26年度	496,255人	6便	5便	6便	6便
H27年度	549,029人	6便	5便	6便	6便
H28年度	571,815人(前年同月比104%)	7便	6便	7便	6便
H29年度	—	6便	5便	6便	—

#### 2 鳥取砂丘コナン空港の国内線運航状況

(1) 路線状況：ANA羽田5便/日 ※羽田発着政策コンテスト枠により、H29年度まで5便化継続

(2) 利用状況と便数の推移

		4便
H25年度	330,016人	4便
H26年度	342,926人	5便
H27年度	368,099人	5便
H28年度	373,107人(前年同月比101%)	5便

(3) 羽田発着枠政策コンテスト（東京-鳥取線5便継続）における目標値

区分	H27年度実績	H29年度目標
利用者数	348,726人	370,000人
利用率	58.6%	62.0%

※利用者数は有償搭乗者数のみの数値

(4) 利用者増に向けた今後の取組

○人口規模が大きい首都圏や外国人旅行者の更なる取込みを図る。

➢ANA うっとり鳥取キャンペーン「鳥取多美（たび）」、ANA 中国統括室との連携等による羽田トランジットの促進、二次交通整備、Wi-Fi環境整備、多言語対応推進等

○移住促進等の県の施策との連携を推進する。

➢移住・企業活動・介護・子どもの県外体験等の目的で利用する場合に航空運賃を半額から全額支援

○空港の持続的な賑わいの創出のため、空港施設の一体化等により「空の駅」化を図る。

➢鳥取砂丘コナン空港への愛称化(27/3/1)を機に空港を一つの観光スポットとする「空の駅」化を推進

#### 3 全日空の特割・各種旅割運賃の現状

(1)「特割」について

H29.3.26～4.28搭乗分の平均価格

区間	鳥取	米子	岡山	広島	岩国	山口宇部	萩・石見	JAL出雲
普通運賃	30,800円	32,300円	33,700円	34,600円	34,600円	38,800円	36,800円	32,300円
特割、 特便割引	金額 22,600円	24,100円	14,500円	15,500円	17,200円	19,400円	25,800円	24,100円
	割引率 27%	25%	57%	55%	50%	50%	31%	26%

特に「特割」の割引率が他空港より低い。  
⇒運賃が他空港より約1万円高い

#### 「特割」、「特便割引」の利用期限

○岡山・広島・岩国・山口宇部

⇒搭乗前日まで

○鳥取・米子・萩・石見・出雲

⇒搭乗3日前まで

(2)その他「旅割」の割引率も、鳥取・米子は、岡山・広島などの山陽側より10%～15%程度低い。

# 本県の航空路線網

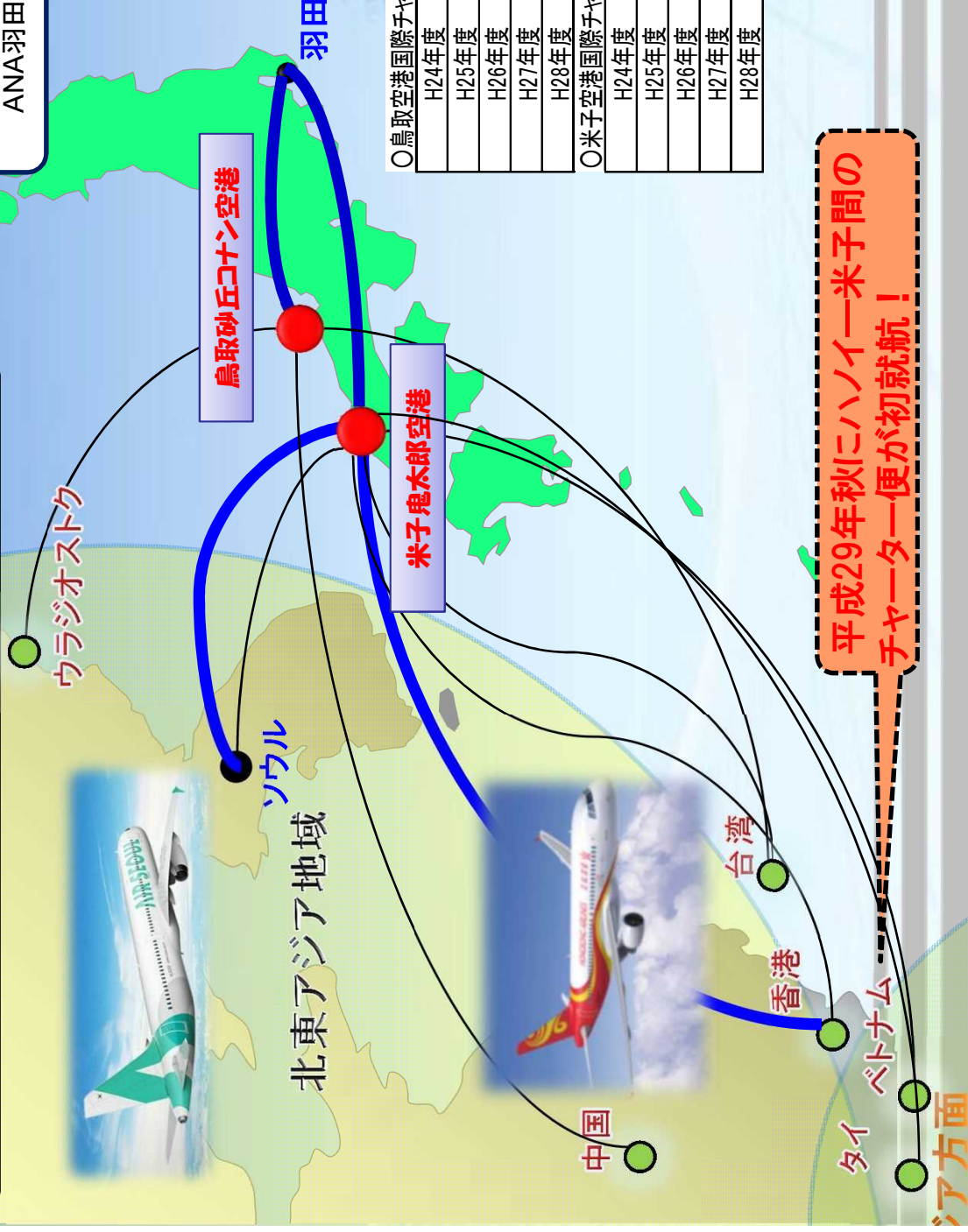
と鳥取県

## <国際線>

- ・エアソウル (週3便:日・火・金) ⇒ H28からエアソウルが就航
- ・香港航空 (週2便:水・土) ⇒ H28に新規就航
- ・チャーター便 (香港、台湾、タイ、韓国、中国、ロシア、ベトナム等)

## <国内線>

- ・米子鬼太郎空港  
ANA羽田1路線6便 (H28.10から6便に減便)
- ・鳥取砂丘コナン空港  
ANA羽田1路線5便 (H26.3から5便化)



○鳥取空港国際チャーター便就航状況

H24年度	8便 (台湾、ロシア)
H25年度	10便 (台湾、ロシア)
H26年度	10便 (台湾、ロシア、中国)
H27年度	8便 (台湾)
H28年度	8便 (台湾、ロシア)

○米子空港国際チャーター便就航状況

H24年度	29便 (台湾、中国)
H25年度	50便 (香港、台湾、ロシア)
H26年度	41便 (香港、台湾、バンコク、韓国)
H27年度	43便 (香港、台湾、韓国)
H28年度	16便 (中国)

平成29年秋にハノイ—米子間の  
チャーター便が初就航!

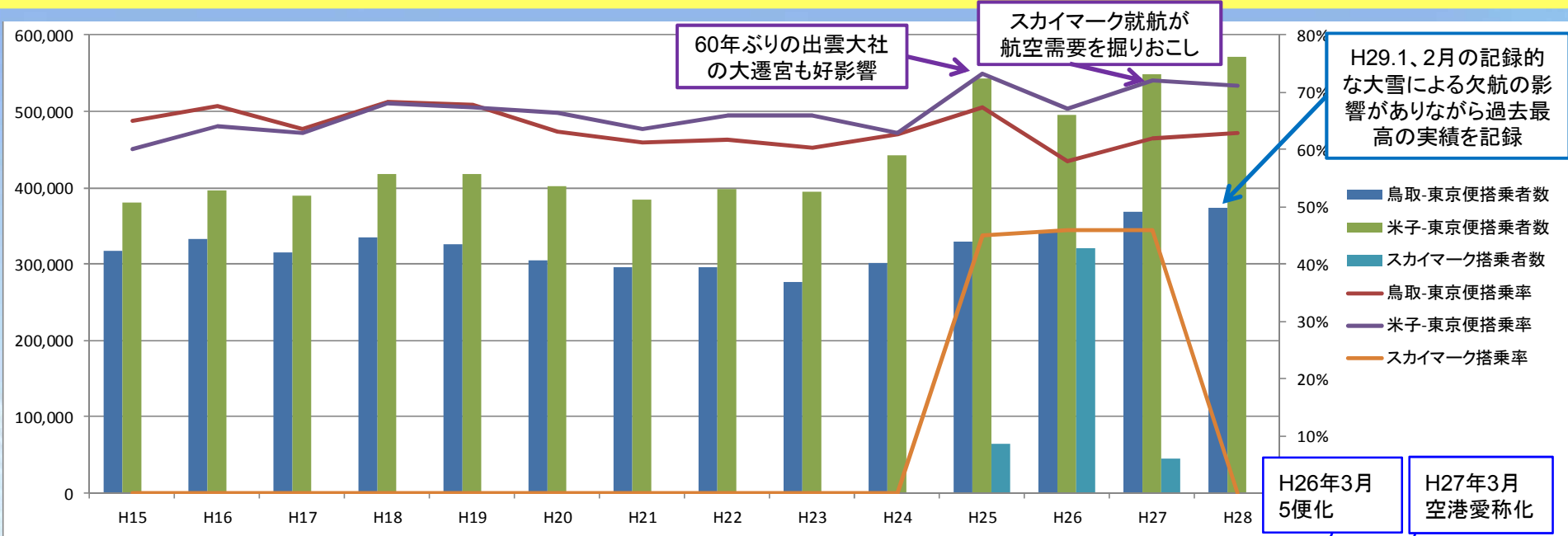
— 定期便  
— チャーター便  
(H26~)

# 本県両空港の国内線利用状況の推移

多様な利用促進策の実施、多路線化等により航空便利用者が急増！

■鳥取：24年度30万人、25年度33万人、26年度34万人、27年度37万人、28年度37.3万人

■米子：24年度44万人、25年度61万人、26年度82万人、27年度60万人（SKY運休）、28年57万人



各年度の利用状況

区分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
鳥取-東京便搭乗者数	317,036	333,273	315,038	334,298	326,421	305,265	295,553	296,750	276,987	301,885	330,016	342,926	368,099	373,107
鳥取-東京便搭乗率	65%	68%	64%	68%	68%	63%	61%	62%	60%	63%	67%	58%	62%	63%
米子-東京便搭乗者数	379,871	396,072	389,343	418,410	418,307	402,021	384,887	398,730	394,677	441,941	543,947	496,255	549,029	571,815
米子-東京便搭乗率	60%	64%	63%	68%	67%	66%	64%	66%	66%	63%	73%	67%	72%	71%
スカイマーク搭乗者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63,780	320,081	45,313	-
スカイマーク搭乗率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45%	46%	46%	-

H15年7月5便化、  
ナイトステイ開始

H15年7月  
4便化

H18年1月  
ナイトステイ開始

H22年4月  
空港愛称化

米子空港国内線利用者が  
初めて80万人達成

H25年10月～5月、H26  
年10月～5月、H27年10  
月～H29年3月：6便化  
※H28.3～期間7便化